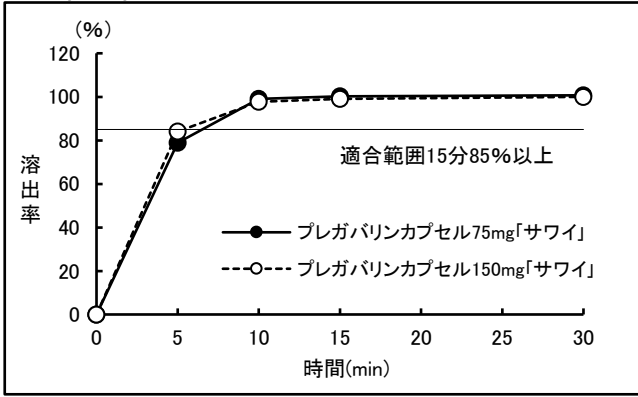


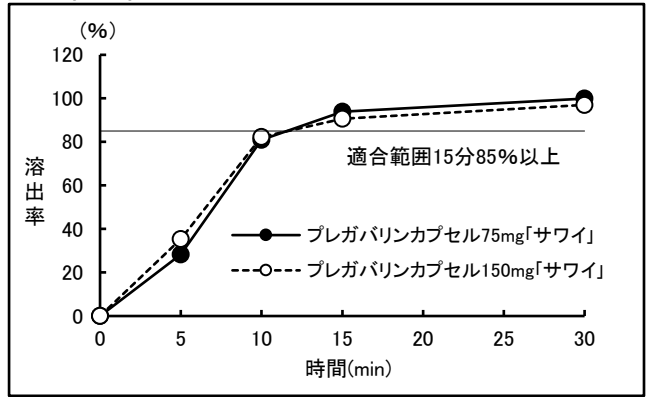
プレガバリンカプセル75mg「サワイ」

目的	試験製剤と標準製剤の生物学的同等性試験における溶出性を確認するため、「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」(平成24年2月29日 薬食審査発0229第10号)に準じ、溶出挙動の同等性を判定する。	
方法	日本薬局方 一般試験法 溶出試験法 パドル法	
条件	回転数・試験液	50rpm: pH1.2、pH5.0、pH6.8、水
	試験液量	900mL
	液温度	37±0.5°C
	試験数	12ベッセル
検体	試験製剤	プレガバリンカプセル75mg「サワイ」(ロット番号: 735K2S1407)
	標準製剤	プレガバリンカプセル150mg「サワイ」(ロット番号: 735K3S2007)
結果	<p>< 50rpm : pH1.2 > 両製剤とも15分以内に平均85%以上溶出した。 最終比較時点(15分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±15%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±25%の範囲を超えるものがなかった。</p> <p>< 50rpm : pH5.0 > 両製剤とも15分以内に平均85%以上溶出した。 最終比較時点(15分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±15%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±25%の範囲を超えるものがなかった。</p> <p>< 50rpm : pH6.8 > 両製剤とも15分以内に平均85%以上溶出した。 最終比較時点(15分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±15%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±25%の範囲を超えるものがなかった。</p> <p>< 50rpm : 水 > 両製剤とも15分以内に平均85%以上溶出した。 最終比較時点(15分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±15%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±25%の範囲を超えるものがなかった。</p>	
結論	以上の結果より、すべての条件において溶出挙動の同等性の判定基準を満たしたため、両製剤の溶出挙動は同等であると判断した。 両製剤の溶出挙動は同等であり、処方変更水準はA水準であることから、両製剤は生物学的に同等であるとみなした。	

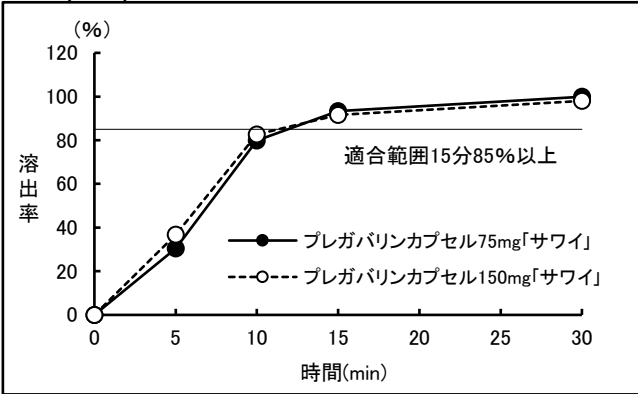
<50rpm:pH1.2>



<50rpm:pH5.0>



<50rpm:pH6.8>



<50rpm:水>

